

安保破棄ニュース

No. 551
2023. 3. 10

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六三三三三
FAX 〇六一六七六三三三六
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

「戦争国家」づくりは許さない！

国民を犠牲にする



饗庭野での抗議行動

去る2月17日から3月2日の間、滋賀県高島市の陸上自衛隊饗庭野演習場において陸上自衛隊とインド陸軍による「ダルマ・ガードイアン22」と称する日印共同の実動訓練が行われました。

この訓練は、岸田政権自らが「戦後安全保障政策の大転換」と言いながら、国民はおろか国会での説明すらまともにすることなく勝手に「安全保障3文書」を閣議決定して以降、初の共同訓練として米海兵機動展開部隊と陸上自衛隊の水陸機動団らが行っている「アイアン・フィスト²³」と並行して実施され、インド陸軍とは初めての共同訓練です。

陸上自衛隊の対テロに係る戦術技量を向上させるとともに、陸上自衛隊とインド陸軍との連携強化を図り、自由で開かれたインド太平洋の維持・強化に資するために行うとしています。中国を念頭に、日米豪印4国の枠組みである「QUAD」の一員として実施したものであり、東アジアでの緊張を高めることが危惧されます。

饗庭野では、1986年以来18回もの米軍との共同訓練が行われており、今回のインド軍との共同訓練が加わり、「安全保障3文書」の実践が進められようとする中、「常態化」されることは許せないと、「あいつ野平和運動連絡会」が抗議声明で厳しく指摘しています。

饗庭野では、過去6年間に4回も実弾が演習場外に着弾する事件が発生しており、多くの高島市民は「平和的生存権」が侵され、安心・安全なくらしが脅かされる大きな不安を抱き、実弾射撃訓練は認められないという思いを強くしています。

ところが、饗庭野演習場では2021年になんと306日間の演習が行われ、実弾射撃訓練を108回も実施。

さらに、饗庭野演習場を擁する今津駐屯地には、現在の戦車大隊に替わって、16式機動戦闘車10両を主体とする第3偵察機動隊が間もなく配備されようとしています。

この戦闘車は、米軍が96時間以内に世界中どこにでも配備できると誇示する戦闘装甲車・ストライカーの性能を取り入れた戦闘車と言われており、とても「専守防衛」を守るなどとは言えない攻撃的兵器です。

まさにいま、饗庭野が自衛隊を「自衛のための必要最低限の実力」から米軍と共に海外で戦争する「戦力」に変えるための訓練場となり、「戦争の拠点」として相手国からの「攻撃目標」にされようとしています。

そして、この心配は辺野古新基地建设が強行されている名護市はじめ、自衛隊のミサイル部隊配備計画が進められている「第一列島線」上に位置する奄美大島・沖縄本島（うるま市）・宮古島・石垣島・与那国島をはじめ、新しく自衛隊と米軍が共有するための基地建设が始められている馬毛島ばかりか、日本全国各地に広がっています。

これら全国各地で広がる戦争への危機感の背景にあるのは、日本政府がアメリカ言いなりに進めようとしている「統合防空ミサイル防衛（IAMD）」構想であることは言うまでもありません。

いくら政府がアメリカのそれとは別物と言おうと、本来、この構想はアメリカとその同盟国が一体となって構築しなければ意味のないものであり、だからこそ政府は「敵基地攻撃能力」を持つようとしており、既に今も自衛隊はQUAD諸国との共同訓練を各地で頻繁に行っていることを厳しく指摘します。

私たち安保破棄大阪実行委員会は、この様な岸田自公政権による対米従属の「戦争国家」づくりを許さないために、憲法会議・国民大運動実行委員会などと共に「大軍拡・大増税NO！連絡会」に結集し、政府による国民へのウソ・ゴマカシをあばき、日本が9条を持つ国として、他国に「脅威」を与える軍事大国などになるのではなく、どの国も排除することのない徹底した外交の力によって信頼を築き、米中対立の緊張を緩和するためにその役割を果たし、日本国憲法が指し示す平和を実現することを追求します。共にがんばりましょう。

大阪港への 米軍艦入港許さない！

米強襲揚陸艦大阪港入港に 30 人が抗議



2月20日の朝10時、大阪港に米強襲揚陸艦「アメリカ」が入港してきました。大阪港への米軍艦の入港は、7年ぶりのものです。

大阪港は商業港であり、1994年には大阪市議会全会一致で「大阪港の平和利用に関する決議」を採択しています。それにもかかわらず、決議採択以降16回も米軍艦が入港しています。

今回の米軍艦入港が伝えられたのは、14日夕方のことでした。それを受けて、安保破棄大阪実行委員会、大阪平和委員会、大阪原水協、非核の政府を求める大阪の会の連名で、抗議行動の実施を諸団体へ連絡しました。急な要請であり、入港する場所が交通の便の良くない場所であるにもかかわらず、30人が集まりました。

今回の入港目的は、物資の補給と乗組員の休養、親善ということですが、全長257m、甲板にはF35Bやヘリコプターが並び、まさに戦争するためのその姿が大阪湾にある異様さに抗議行動参加者から驚愕の声があがっており、親善をはかるなどできないことは明

諸団体の取り組み、当面の予定など

3月

- 11日(土) なくせ原発おおさか集会 2023
14:00~16:00 エルシアター 集会後パレード(中之島まで)
- 15日(水) 安保破棄大阪実行委員会常任幹事会 10:00~
- 22日(水) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00~ 淀屋橋
- 23日(木) 大阪府知事選挙告示
- 31日(金) 大阪府議会議員選挙告示

4月

- 9日(日) 大阪府知事選挙・府会議員選挙 投開票
- 19日(水) 安保破棄大阪実行委員会常任幹事会 10:00~
- 21日(金) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00~ 淀屋橋

5月

- 13日(土) 安保破棄大阪実行委員会「総会」
14:00~17:00 大阪民医連・会議室

23 宣伝行動

2月の安保破棄大阪実行委員会 23 定例宣伝行動を 2月22日の昼12時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。今回で通算412回目の23行動となります。ビラ配布「大軍拡と増税に反対する」請願署名協力呼びかけ、横断幕、プラスターなどを持つスタンディング宣伝、弁士による訴えを

6人の参加で行いました。弁士は、大阪憲法会議、日本共産党大阪府委員会から出してくださいました。

大軍拡・増税で国民の暮らしがいかにかに壊されるか、「敵基地攻撃」が明らかなに憲法違反であり、いかにかに危険であるのかなどを訴えました。

次回の宣伝行動は、3月23日が知事選挙告示日ですので、前日22日水曜日の12時から、淀屋橋で行う予定です。



確です。

17日の大阪市議会で、この件について質問された日本共産党の長岡大阪市議からの報告もありました。4月に行われる大阪府知事選挙の予定候補である辰巳コータロー氏も駆けつけ、「戦争を呼び込むような大阪湾にはほならない」と、平和な大阪を実現するために奮闘する決意を述べられました。

抗議行動後、大阪市長宛と大阪府知事宛に抗議の意を示す要請書を提出し、協議の場を持つように要請しました。後日、大阪港湾局から連絡が入り、3月17日に協議の場を持つことになりました。

近畿安保合同連続学習会第8弾

「安保関連3文書を読む」

近畿2府4県の安保破棄実行委員会が合同で開催している、連続学習会の第8弾を、2月25日(土)の14時から開催しました。

フリージャーナリストの布施祐仁さんに「安保関連3文書を読む」をテーマに話をいただきました。

昨年12月に閣議決定された「安保3文書」の危険性を、その前後の日米安全保障協議委員会(2+2)の発表文書などからわかりやすく話されました。また、「台湾有事」に関しても、当事者である中国や台湾がどのように考えているのかも踏まえて話されました。また、「安保破棄」をスローガンで唱えるだけでなく、(日米安保体制ではない)もう一つの大きな選択肢をちゃんと示していくということが本場に大事になっている」と、ASEANに学び、対話と強調で平和を築いていく道があることをしっかりと示す行動をしていかなければいけないと、安保破棄実行委員会の役割についても言及されました。